

子どもと一緒に片付け上手になろう♪

「お片付けするよ！」と子どもに伝えると、なかなか取り組まなかったり、途中で再び遊び始めたりして、結局大人が片付けることはありませんか？片付けない子どもにイライラしたり、「いい加減にして！」と怒ったりすることもあるかもしれません。

どうしたら、子どもが片付けに取り組んでくれるのか、片付けへのポイントをお伝えしたいと思います。

片付けがとても苦手、もしくはまだ遊びたい子の場合は、片付けてと言われても前向きな気持ちで取り組めません。まずは、大人が大半を片付けてしまいましょう。その時に全部ではなく、残り1~2つを残し、そのおもちゃは大人が手を添えて、子どもと一緒に片付けます。偶然でもカゴに入ってしまったら、片付け成功です。入った途端大いに子どもをほめて、片付けが良いことを伝えましょう。そして、次にすることへと促しましょう。繰り返し行い、子どもが片付ける量を徐々に増やしていくことで、理解していくと思います。

次に、リビングなど部屋に置いてあるおもちゃを「よく遊ぶもの」「そうではないもの」と整理し、あまり使わないおもちゃは収納スペースなど子どもの見えない場所に置きましょう。おもちゃがたくさんあると、次々と出されなくなったり、遊びが転々として集中できなったりする子もいます。数か月ほど経ってから、収納されたおもちゃと部屋のおもちゃを交換することで、以前は遊ばなかったおもちゃで遊べるようになったり、遊び方が変化したりすると思います。



また、大きいカゴを1つ用意して、その中に全部片付けるようにしたり、「青のカゴはブロック」「赤のカゴは人形」とおもちゃの住所を決め、仕分けして片付けたりと、子どもの様子によって片付けの方法を変えることもできます。他にも、誰が多く袋に入れられるか、何秒でできるかなどゲームと結びつけることで、楽しみながら片付けることもできます。

ちょっとした工夫と毎日の繰り返しから、少しずつ片付けが上手になるといいなと思います。

(つばさ保育士 奥田)